第 3 版（2017 年 4 月発行）からの主な改定箇所は以下の通りです

2022 年 7 月 4 日

◆窯業系サイディングと標準施工　第 4 版（2022 年 7 月発行）

＜第 4 版の改訂箇所＞	頁
１．窯業系サイディングの需要の推移を最新版に変更	P2
２．窯業系サイディング JIS 規格を 2019 版に変更	P5～8
３．適用範囲に、木造工法では 16m 以下を追記	P11
４．施工上の注意事項(5)寒冷地における注意事項に、⑥無落雪部分の注意を追記	P16
５．サッシの確認に、サッシフィンのないサッシについて追記	P21
６．防水テープ張りに、先張り防水シートがない場合の張り方を追記	P23
７．胴縁の取り付けで、下地のくぎ保持力が合算できる場合の胴縁厚さは、防水紙のたるみを考慮して、通気をより確保できるように変更 第 3 版：12mm 第 4 版：15mm	P25
８．胴縁の取り付けに、くぎ保持力のない下地面材を使用する場合を追記	P26
９．くぎ留め施工の出隅部に、留め付け方法を追記	P39
１０．バルコニーの施工で、天板使用時の注意を変更 第 3 版：通気層をふさぐサイディングの水平使いは行わない。 第 4 版：天板などで通気層をふさがないよう注意する。	P44
１１．幕板の取り付けに、金具留めの例を追加	P46
１２．巻末資料を追加	P66～75
１３．防・耐火構造認定を移設し、詳細を記載	P66～71
１４．必要くぎ保持力と材厚を記載	P72
１５．耐風圧性能を記載	P73
１６．金具・ねじ併用留め仕様を記載	P74
１７．耐震性能を記載	P75
１８．推奨品制度終了に伴い、防水関連材料規格を削除。推奨品の記載を削除	
１９．施工上の注意事項から、切欠き胴縁使用の注意事項を削除（協会各社の標準仕様ではないため）	